

地域医療部通信

産業医研修会 (令和元年7～9月)

<京都産業保健総合支援センターとの共催>

お申し込みは、下記(一覧表の下)をご参照ください。

※以下の研修会は、日認定産業医研修会として申請中

日時・場所	テーマと概要	定員	講師
7月3日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「長時間勤務者面接指導と法改正」</p> <p>過重労働対策は、昨今の産業保健における最も重要な課題の一つです。本講では、長時間労働者に対する健康管理の運用法、保健指導上での注意点についてお話しします。</p> <p>加えて、安衛法改正により長時間労働者への面接指導の対象者選定基準や実施義務が変更される点についても解説します。</p> <p>生涯(更新)2単位</p>	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 山田 達治
7月18日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「過重労働による健康影響と意見書の書き方」</p> <p>平成29年度の脳・心臓疾患についての労災補償請求件数は840件、支給決定件数は253件、うち死亡件数は92件でした。過労死など、長時間労働が健康に及ぼす影響を概説します。実際に長時間労働者に対する面談を依頼された場合、どのような情報を集めればよいのか、また、面談ではどのようなことを確認すればよいのかを考え、意見書記入の実際を体験していただきます。</p> <p>生涯(実地)2単位</p>	50名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 櫻木 園子
7月20日(土) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「もう繰り返さない!メンタルヘルス不調者に対する適切な労務管理法 ～標準化により中途半端な復職、安易な休職を減らし、労務管理の効率化を図る～」</p> <p>近年、職場の健康管理に関わる産業医にとってメンタルヘルス対応は避けられないものとなっています。さまざまな努力と工夫により、一定の成果は挙げてきたものと思われませんが、「あと一步」手に負えないケースへの対応が課題として残っていることも実感でしょう。</p> <p>今回の研修では、1)医療的配慮と業務的配慮の区別、2)人事総務担当者との連携、3)標準的な手順と様式の導入による復職成功率向上といった点から、いわば「逆転の発想」によりメンタルヘルス対応を見直します。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	66名	岡山大学大学院医歯薬学 総合研究科 疫学・衛生学分野 医師 高尾 総司氏
7月27日(土) 午後2時15分 ～午後4時15分 京都府医師会館 2階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「若年性認知症の方の就労継続支援について(第1回)」(共催:京都府)</p> <p>40～50代の働き盛りに発症する若年性認知症は、症例が少ないことやうつ病などの他の疾患と症状が似ていることから、診断を遅らせ、気づいた時にはすでに病気が進行し、本人・家族や職場の人たちに大きな負担をかけることが少なくありません。</p> <p>このことから、早期発見・早期支援を可能にいくために、若年性認知症の症状や他の病気との違い、早期発見の重要性、本人や家族への対応および支援のあり方等の基礎的な内容について、講習します。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	100名	京都府立医科大学大学院 精神機能病態学 講師 柴田 敬祐氏

日時・場所	テーマと概要	定員	講師
8月1日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「がん罹患者就労支援」 がん罹患者の3割は就労世代に発生しており、がん罹患者の就労支援は労働者にとっても企業にとっても大きな課題となっています。 患者さん、医療機関、企業それぞれに実施したアンケート調査から見えてきた、産業医等の役割と課題について、アンケート結果を紹介しながら、お話しします。 生涯(専門) 2単位	66名	滋賀医科大学社会学講座 衛生学部門 准教授 埴田 和史氏
8月8日(木) 午後2時～ 午後4時 市民交流プラザ ふくちやま 3階視聴覚室 (JR福知山駅すぐ)	「職場のメンタルヘルス 一次予防の取り組み ～参加型職場環境改善の実際～」 ストレスチェック制度の主な目的は一次予防となっており、その効果的な手法として参加型職場環境改善活動が注目されています。 近年自治体などで行われている職場環境改善の取り組みについて具体的に紹介します。 生涯(専門) 2単位	45名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 森口 次郎
8月21日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「医療に活かせるカウンセリングの実際 ～リスニングのスキル～」 医療現場における患者とのコミュニケーション、産業保健分野における労働者に対する保健指導等、医療職と患者等とのかかわりにおいて、円滑な関係の構築、有用なサポート等、医療現場に活かせるリスニングのスキルを学びます。 生涯(専門) 2単位	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 伊東 眞行
8月29日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「がん罹患者の社員の就業支援の進め方」 がんの治療をしながら働く労働者は325万人を超え、労働者の0.5%に相当すると言われます(2010年)。がんの治療のために入院していた労働者が復帰する時にどのような課題があり、産業医がどのように支援できるのか、事例をもとにグループディスカッションを交えて検討します。 生涯(実地) 2単位	30名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 櫻木 園子
8月31日(土) 午後2時15分 ～午後4時15分 京都府医師会館 2階会議室 (JR二条駅東側)	「若年性認知症の方の就労継続支援について (第2回)」(共催:京都府) 40～50代の働き盛りに発症する若年性認知症は、症例が少ないことやうつ病などの他の疾患と症状が似ていることから、診断を遅らせ、気づいた時にはすでに病気が進行し、本人・家族や職場の人たちに大きな負担をかけることが少なくありません。 このことから、早期発見・早期支援を可能にいくために、若年性認知症の症状や他の病気との違い、早期発見の重要性、本人や家族への対応および支援のあり方等の基礎的な内容について、講習します。 生涯(専門) 2単位	100名	京都府立医科大学大学院 精神機能病態学 講師 柴田 敬祐氏
9月5日(木) 午後1時45分 ～午後3時45分 市民交流プラザ ふくちやま 3階視聴覚室 (JR福知山駅すぐ)	「労働災害等への産業医としての関わり」 (北部地区) 産業医として職務を行うにあたって労働災害と聞いて頭に浮かぶ内容は業種によってかなり異なると考えられる。製造業においては、まず作業における外傷が考えられ、他にはいわゆる職業性疾患が思いつきます。これらには産業医が直接関わる部分は限られているが、その対策や予防に協力が求められます。また、あらゆる業種においてもメンタルヘルス事例や過重労働対策などでは安全配慮義務という言葉が頭を頻りに過ぎります。今回は、広い範囲で労働災害に関して知っておいたほうが良い知識および私が経験した事例、対策の紹介などを行いたいと思います。 生涯(専門) 2単位	45名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 坂田 晃一

日時・場所	テーマと概要	定員	講師
9月7日(土) 午後2時～ 午後4時 産保センター 2階会議室 AB ※公共交通機関 をご利用下さい	「職場における効果的な禁煙推進のポイント」 本研修では病気を予防できる単一で最大の原因である喫煙を取り上げ、職場での禁煙推進を効果的に進めるためのポイントをエビデンスに基づいて2つの切り口で解説します。すなわち、①職場の禁煙化や組織としての取り組み体制の強化など、禁煙を推進する環境をどのように整備するか、②健診や保健指導などの既存の仕組みを活用して禁煙をどのように推進するかです。最近流行している加熱式たばこへの対応についても、現在得られているエビデンスをもとにお話をします。 生涯(専門)2単位	55名	公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター センター長 中村 正和氏
9月11日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「メンタル不調者のリハビリと復職支援」 産業医による指導は、業務負荷やストレスを抑制する方向に考えることが多くなりがちです。しかし、不調者が社会復帰や治癒に向かって歩むためには、苦痛を承知の上で行動するリハビリの重要性も見落としてはなりません。 本講ではメンタルヘルス不調からの復職の随所で必要なリハビリの考え方について、事例を提示しつつお話しします。 生涯(専門)2単位	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 山田 達治
9月12日(木) 午後2時15分 ～午後4時15分 京都府医師会館 3階会議室 (JR二条駅東側)	「若年性認知症の方の就労継続支援について (第3回)」(共催:京都府) 40～50代の働き盛りに発症する若年性認知症は、症例が少ないことやうつ病などの他の疾患と症状が似ていることから、診断を遅らせ、気づいた時にはすでに病気が進行し、本人・家族や職場の人たちに大きな負担をかけることが少なくありません。 このことから、早期発見・早期支援を可能にしていくために、若年性認知症の症状や他の病気との違い、早期発見の重要性、本人や家族への対応及び支援のあり方等の基礎的な内容について、講習します。 生涯(専門)2単位	100名	京都府立医科大学大学院 精神機能病態学 講師 松岡 照之氏
9月18日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「労働者災害補償保険制度の概要について」 労災保険制度の円滑な運用には、産業保健に関わる方々や人事労務の担当者に、その内容をご理解いただくことが必要ですので、労災保険の適用をはじめとして、業務災害・通勤災害、業務上疾病の認定、労災保険給付の内容、労災保険給付と損害賠償の調整等についてご説明いたします。 生涯(更新)2単位	66名	京都労働局 労働基準部 労災補償課 課長 目黒 彰一氏
9月26日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「職場のメンタルヘルス 一次予防の取り組み ～参加型職場環境改善の実際～」 ストレスチェック制度の主な目的は一次予防となっており、その効果的な手法として参加型職場環境改善活動が目立っています。 近年自治体などで行われている職場環境改善の取り組みについて具体的に紹介します。 生涯(専門)2単位	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 森口 次郎

■ お申し込み方法 ■

「京都産業保健総合支援センター」ホームページ (<https://www.kyotos.johas.go.jp>) からお申し込みください。

定員に達している場合はお申し込みできませんので、ホームページでご確認ください。

■ お問い合わせ先 ■

独立行政法人労働者健康安全機構 京都産業保健総合支援センター

電話. 075-212-2600 FAX. 075-212-2700

〒604-8186 京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町361-1 アーバネックス御池ビル東館5階